

<研究名称>

めまい患者に対する集団前庭リハビリテーション の検討

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者・担当者 耳鼻咽喉科 医師 長峯 正泰

<研究期間>

2017年3月から月に1度のペースで開始しており、今後も継続していく。

<診療・研究の目的>

めまいに対する「前庭リハビリテーション（以下前庭リハ）」の効果は広く認知されているところだが、医療現場での導入はマンパワー、診療報酬の問題などからも進んでいない。限られたマンパワー、限られた時間で多くの患者に対応するためには、当科医師およびコメディカル（理学療法士、検査技師）とのチーム医療による集団での前庭リハも有効と考えている。その有効性を確認し、将来的に前庭リハに診療報酬が認められ普及の一助となればと考える。

<実施内容（方法）・危険性（副作用）等>

（1）実施内容（方法）

対象：3ヶ月以上の目眩症状を有する患者

方法：当初は、月1回から開始する。

外来待合スペース、講堂などを利用して指導。

指導は横浜みなと赤十字病院方式に乗っ取ったいかのレッスン項目を理学療法士、医師、検査技師各1名ずつの計3名が分担し、それぞれサポートしていく。

またリハビリを習熟した患者が先輩患者として協力もしてもらうことも目指している。

- ・座位でのレッスン7項目
- ・立位でのレッスン5～6項目
- ・特別レッスン 振り上げ動作1項目など

検討項目：3ヶ月毎に Dizziness Handicap Inventory (DHI) の記載、重心動揺検査、Timed Up & Go Test (TUG) などによりリハビリ参加前後の改善度を比較する。

（2）危険性・副作用等

めまい・嘔気の出現や、立位でのレッスン項目の際の転倒などが予想される。

無理をさせずにできる範囲でリハビリを進め、注意を要する患者には重点的にサポートにつくようにする。

<倫理上問題になると考えられる事項>

特になし。

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ

〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院 耳鼻咽喉科 医師 長峯 正泰

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648